

脳死ドナーからの膵島移植の臨床試験での実施のお知らせ

日本膵・膵島移植研究会では、心停止ドナーからの膵島移植を厚生労働省先進医療制度のもとで臨床試験として実施しているところではありますが、提供いただける膵臓のさらなる有効利用を目指し、膵臓移植に用いられない脳死ドナー提供膵をこの臨床試験においても使用可能とするよう準備を進めてまいりました。その結果、平成 25 年 3 月 1 日に「重症低血糖発作を合併するインスリン依存性糖尿病に対する脳死及び心停止ドナーからの膵島移植」が先進医療 B として承認されたことが厚生労働大臣より告示されたことをご報告いたします。

この告示を受け、心停止ドナーに加え脳死ドナーの場合においても膵島移植を実施することが制度上可能となりましたため、平成 25 年 4 月 8 日より、提供膵が膵臓移植に用いることが不適であると判断された場合に、脳死ドナーからの膵島移植を実施することといたしました。

これまでの心停止ドナーのみからの膵島移植に比べ、ドナー膵の有効な利用によりドナーおよびドナー家族の意思に報いることが可能となるだけでなく、膵島移植の臨床成績の向上にも寄与することが期待されております。膵島移植実施におきまして、今後ますますのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 25 年 3 月 8 日

日本膵・膵島移植研究会
会長 後藤 満一